

最高裁判所判事

草野耕一(くさのこういち)

(昭和 30 年 3 月 22 日生)



略歴

- 昭和 53 年 東京大学法学部卒業
昭和 53 年 司法修習生
昭和 55 年 弁護士登録(第一東京弁護士会)
昭和 61 年 ハーバード大学修士(LL.M.)
平成 16 年 西村あさひ法律事務所(当時の名称「西村ときわ法律事務所」)代表パートナー
平成 19 年 東京大学大学院法学政治学研究科客員教授
平成 25 年 慶應義塾大学大学院法務研究科教授
平成 26 年 ハーバード大学法科大学院客員教授
平成 30 年 東京大学博士(法学)
平成 31 年 2 月 13 日 最高裁判所判事

信条、趣味など

裁判官としての心構え

法令の解釈が異なれば人々の行動が異なり、人々の行動が異なれば社会のありようが変わります。この点を踏まえて、法令を適正に解釈することを通じて豊かで公正で寛容な社会を形成すべく、微力ながら全力で職務にあたりたいと考えています。

好きな言葉

「日々学び、日々反省し、以って向上し続ける」ということをこれまで生活の信条としてきました。これからもそうありたいと思っています。

印象に残った本

これまでたくさんの本を読んできましたが、心に残る作品としては、庄司薰の小説(とくに『さよなら快傑黒頭巾』)、加藤周一の隨筆(とくに『羊の歌』)、司馬遼太郎の小説(とくに『坂の上の雲』)、村上春樹の小説(とくに『ノルウェイの森』)をあげができるかと思います。

趣味

いろいろありますが、一番の趣味は「勉強」です。若いころはそうでもありませんでしたが、年をとるにつれて勉強が好きになってきました。50代の時には数学や経済学の勉強に励み、還暦を過ぎてからは、記憶力の低下を嘆きつつ、フランス語の勉強を続けています。歴史の勉強も好きで、最近は、イギリスとフランスの近世史、それから、日本の中世史の本をよく読んでいます。